

## 令和8年度国際関係学部一般選抜A個別方式(第1期)出題意図について

### 歴史総合, 世界史探究

#### 大問1

ローマ帝国の歴史に関する地図問題である。ヨーロッパ, アジア, アフリカにまたがる広大な地域を支配したローマ帝国の興亡史について, その歴史的展開を地理的状況ともあわせて理解できているかを確認することを意図した。

#### 大問2

ユーラシア大陸をまたぐグローバル史としてのモンゴル帝国史の重要性が近年注目されている。この設問では, モンゴル帝国を世界史のなかの異端的(例外的)存在として捉えるのではなく, 西洋・イスラム・中国文化圏などとの接触・交流のなかで成長し, 相互に影響を及ぼしあった世界帝国であったことが理解できているか確認した。

#### 大問3

18世紀から20世紀にかけての東南アジアの歴史に関する設問である。東南アジアの政治的展開はヨーロッパ諸勢力による植民地化と密接に結びついている。このような観点から, 本問は特に時系列に東南アジア諸地域の政治的な動き, またヨーロッパ地域との関係について問う略年表形式の出題とした。

#### 大問4

20世紀世界におけるアメリカ合衆国の存在感に比して, アメリカ合衆国史の研究が進展していないことは, 世界史教科書における記述の少なさにも顕著に表れている。この設問では, 教科書が扱う範囲でのアメリカ史の基本的知識を問いた。20世紀アメリカ史は「20世紀現代史」の縮図ともいえることに鑑み, 著名な写真, 常識的なアメリカ社会・文化の事実を正確に理解していることも確認した。